



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月14日

上場会社名 株式会社フレアス 上場取引所 東
コード番号 7062 URL <https://fureasu.jp>
代表者(役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 澤登 拓
問合せ先責任者(役職名) 取締役CFO (氏名) 中村 和徳 (TEL) 03(6632)9210
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	2,393	44.8	△12	—	△44	—	△70	—
2025年3月期第1四半期	1,653	21.4	△59	—	△71	—	△56	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △70百万円(—%) 2025年3月期第1四半期 △57百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△27.73	—
2025年3月期第1四半期	△24.15	—

(注) 2025年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	9,892	1,621	16.1
2025年3月期	8,700	1,548	17.5

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 1,595百万円 2025年3月期 1,525百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,668	30.8	109	—	43	—	222	—	87.12
通期	7,715	1.8	291	—	287	—	396	—	155.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	2,606,600株	2025年3月期	2,399,600株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	65株	2025年3月期	65株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	2,551,403株	2025年3月期1Q	2,352,535株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の通商政策による不透明感や欧米を中心とした高い金利水準の継続による影響が懸念されるなか、一部地域に停滞も見られましたが、全体としては緩やかな回復基調となりました。日本経済においては、物価上昇が続きましたが、企業収益や雇用情勢の改善を背景に、個人消費に持ち直しの動きが見られました。

当社グループが属する在宅マッサージ業界及び介護業界におきましては、少子高齢化が加速する一方で、医療機関における病床数の減少が見込まれるとともに、政府による地域包括ケアシステムの構築の推進活動と相俟って、在宅療養の重要性がますます高まってきております。

このような状況のもと、当社グループのマッサージ直営事業及びマッサージフランチャイズ事業においては、2024年6月よりはり師、きゅう師及びあん摩マッサージ指圧師の施術に係る療養費が改定されたことに伴い、施術単価が増加しております。一方で、当社グループの施設系介護サービス事業に含まれる医療対応型療養施設においては、看護師、介護士の採用遅れによるサービス提供回数の減少及び一部施設における一時的な入居率の減少が発生いたしました。また看護小規模多機能型居宅介護施設においては、看護師、介護士の採用遅れによるサービス提供回数の減少及び営業活動の不足による利用者獲得の遅れが発生いたしました。そのため、2025年9月1日に、医療対応型療養施設の全部及び看護小規模多機能型居宅介護施設の一部を事業譲渡することを決定いたしました。

今後は、高齢者人口がピークに達するという「2040年問題」の到来が見込まれる環境下において、祖業であるマッサージ直営事業及びマッサージフランチャイズ事業に経営資源を集中させ、マッサージ及び鍼灸サービス利用者のさらなる増大を通じて、超高齢社会における課題解決企業として当社グループが事業を遂行してまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,393,727千円（前年同四半期比44.8%増）、営業損失は12,389千円（前年同四半期営業損失は59,318千円）、経常損失は44,133千円（前年同四半期経常損失は71,018千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は70,758千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失56,802千円）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等の注記)」の「4. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおり、事業セグメントの区分方法を変更しております。以下の前年同期比較の数値については、前期の数値を変更後の区分で組み替えた数値との比較との比較となっております。

① マッサージ直営事業

マッサージ直営事業では、筋麻痺や関節拘縮といった症状が進んでしまった利用者に対して、日常生活動作能力（ADL能力）の向上を目的として、従前よりも高頻度なサービス提供を提案することで、サービス提供回数の増加に取り組んでまいりました。当第1四半期連結累計期間においては、営業専門部署設置等による初療数の増加及び鍼灸施策による鍼灸レセプト数の増加により売上高が増加した結果、増収増益となりました。

以上の結果、売上高は1,036,872千円（前年同四半期比8.6%増）、セグメント利益は304,984千円（前年同四半期比10.5%増）となりました。

② マッサージフランチャイズ事業

マッサージフランチャイズ事業では、当第1四半期連結累計期間末における加盟店数は351拠点（前年同四半期末比6.4%増）となりました。ロイヤリティ収入等についても、加盟店数の増加により増加した結果、増収増益となりました。

以上の結果、売上高は290,437千円（前年同四半期比29.4%増）、セグメント利益は80,481千円（前年同四半期比35.9%増）となりました。

③メディカルケア事業

メディカルケア事業に含まれる医療対応型療養施設事業においては、2025年4月の事業譲受によるメディカルケアホーム富山1st、メディカルケアホーム富山2nd及びメディカルケアホーム富山3rdの開設に、2025年5月のメディカルケアホーム宇都宮の開設により、拠点数が15拠点となりました。既存施設においては、地域の医療機関等への営業活動の強化等により、登録利用者数が増加し、売上高が増加いたしました。また、看護小規模多機能型居宅介護施設事業においては、新規開設は完了し、拠点数が12拠点となりました。一方で、医療対応型療養施設事業の新規開設のための費用が先行して発生いたしました。なお、セグメント変更により、前期までその他の事業に含まれていた訪問看護事業が、当第1四半期連結会計期間よりメディカルケア事業に変更となっております。

以上の結果、売上高は1,065,277千円（前年同四半期比187.9%増）、セグメント損失は75,747千円（前年同四半期セグメント損失は171,481千円）となりました。

④その他の事業

セグメント変更により、当第1四半期連結会計期間より、前期までその他の事業に含まれていた訪問看護事業は、メディカルケア事業に変更したため、その他の事業は研修事業となっております。

以上の結果、売上高は1,140千円（前年同四半期比98.9%減）、セグメント損失は10,616千円（前年同四半期セグメント利益6,183千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、4,137,660千円となり、前連結会計年度末に比べ672,745千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が354,972千円及び売掛金が213,475千円増加したことによるものであります。

また、固定資産は、5,754,676千円となり、前連結会計年度末に比べ518,694千円増加いたしました。これは主にリース資産が534,242千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は9,892,337千円となり、前連結会計年度末と比べ1,191,440千円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は2,804,472千円となり前連結会計年度末と比べ676,236千円増加いたしました。これは主にリース債務が11,564千円増加したことによるものであります。

また、固定負債は5,466,823千円となり、前連結会計年度末と比べ442,403千円の増加となりました。これは主にリース債務が538,071千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は8,271,295千円となり、前連結会計年度末と比べ1,118,793千円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,621,041千円となり、前連結会計年度末に比べ72,800千円増加いたしました。これは主に資本金が70,383千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想の修正については、本日(2025年8月14日)公表しました、「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	814,999	1,169,971
売掛金	1,491,944	1,705,420
貯蔵品	13,716	14,253
立替金	1,019,015	1,107,933
その他	127,269	142,392
貸倒引当金	△2,030	△2,310
流動資産合計	3,464,914	4,137,660
固定資産		
有形固定資産		
リース資産	3,783,933	4,318,175
その他	299,494	312,735
有形固定資産合計	4,083,427	4,630,911
無形固定資産		
のれん	393,263	382,471
契約関連無形資産	188,461	182,692
リース資産	4,923	4,501
その他	40,731	36,003
無形固定資産合計	627,380	605,669
投資その他の資産		
繰延税金資産	61,281	50,877
その他	463,892	467,218
投資その他の資産合計	525,174	518,095
固定資産合計	5,235,982	5,754,676
資産合計	8,700,897	9,892,337
負債の部		
流動負債		
短期借入金	834,000	834,000
1年内返済予定の長期借入金	378,145	350,658
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
リース債務	118,933	130,498
未払法人税等	22,148	14,941
賞与引当金	109,186	101,581
その他	605,823	1,312,792
流動負債合計	2,128,236	2,804,472
固定負債		
長期借入金	681,919	603,031
社債	240,000	210,000
リース債務	3,825,908	4,363,980
退職給付に係る負債	9,749	12,086
繰延税金負債	66,783	64,781
その他	199,906	212,943
固定負債合計	5,024,265	5,466,823
負債合計	7,152,502	8,271,295

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	315,884	386,267
資本剰余金	305,884	376,267
利益剰余金	906,624	835,865
自己株式	△70	△70
株主資本合計	1,528,322	1,598,329
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△2,398	△2,398
その他の包括利益累計額合計	△2,398	△2,398
新株予約権	22,470	25,110
純資産合計	1,548,394	1,621,041
負債純資産合計	8,700,897	9,892,337

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	1,653,701	2,393,727
売上原価	935,718	1,391,218
売上総利益	717,982	1,002,509
販売費及び一般管理費	777,300	1,014,898
営業損失(△)	△59,318	△12,389
営業外収益		
助成金収入	1,459	6,642
違約金収入	4,817	5,480
その他	1,928	3,143
営業外収益合計	8,205	15,266
営業外費用		
支払利息	18,019	43,036
その他	1,886	3,973
営業外費用合計	19,906	47,010
経常損失(△)	△71,018	△44,133
税金等調整前四半期純損失(△)	△71,018	△44,133
法人税、住民税及び事業税	6,340	18,222
法人税等調整額	△20,556	8,403
法人税等合計	△14,216	26,625
四半期純損失(△)	△56,802	△70,758
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△56,802	△70,758

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
当期純利益	△56,802	△70,758
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△882	△153
包括利益	△57,685	△70,912
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△57,685	△70,912

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年6月25日 定時株主総会	普通株式	24,866	10.57	2024年3月31日	2024年6月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)3
	マッサージ 直営	マッサージ フランチャ イズ	メディカル ケア	計			
売上高							
外部顧客への売上高	954,008	225,319	464,328	1,643,655	10,045	—	1,653,701
セグメント間の内部 売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	954,008	225,319	464,328	1,643,655	10,045	—	1,653,701
セグメント利益又は損失 (△)	289,389	41,077	△163,523	166,942	△1,779	△224,481	△59,318

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に研修事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)3
	マッサージ 直営	マッサージ フランチャ イズ	メディカル ケア	計			
売上高							
外部顧客への売上高	1,036,872	290,437	1,065,277	2,392,587	32,340	△31,200	2,393,727
セグメント間の内部 売上高 又は振替高	—	—	—	—	△31,200	31,200	—
計	1,036,872	290,437	1,065,277	2,392,587	1,140	—	2,393,727
セグメント利益又は損失 (△)	304,984	80,481	△75,747	309,718	△10,616	△311,490	△12,389

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に研修事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当連結会計年度より、一部所属セグメントの見直しを行いました、主に「施設系介護サービス事業」と「その他事業」に区分していた介護保険サービスについて「メディカルケア事業」へ集約しております。

なお、前四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	34,874千円	64,474千円
のれんの償却額	11,292 "	10,791 "